



歴史と自然と食を満喫！

～塩の道ウォーキング～



7月25日、小久慈市民センターとの合同事業「山根塩の道ウォーキング」を開催。子ども7人、大人23人が山根の歴史と自然と食を満喫しました。

ウォーキング前は、ガイドの橋上智さんの畑で3種類のジャガイモ掘りを体験。ツルを引っ張ると、土の中から連なって顔を出す大きなイモに、子どもたちは大きな歓声をあげていました。

ウォーキングの道中では、「塩の道」の歴史や植物の名称、熊の爪痕が残る樹木、動物が掘った巣穴などをガイドが詳しく説明。参加者の皆さんは興味深く聴いていました。

ウォーキングの後は、橋上さんの畑で収穫したジャガイモの試食会。参加者の皆さんは茹でたイモに「のだ塩」を振りかけて食べながら「さっき歩いた道を通してこの塩を運んでいたんだね」と話していました。

「塩の道」とは

野田村で作られた塩や海産物を牛の背に積み、盛岡や沢内、遠くは秋田県の鹿角まで運んだ古道。「ベコ」の道と呼ばれ、盛岡までおよそ7日間かけて歩いたと伝えられています。

沿岸と内陸を結ぶ重要な交易の道であり、物資の往来だけではなく、人々の生業や文化の交流を支え続けてきました。

参加者の声

かつて、三陸の塩や物資を牛に乗せて運んだ「塩の道」。先人が牛と共に何百年も踏み固めた古道を、いにしえに思いを馳せながら歩き、改めて山根の魅力を感じる一日となりました。

地域の貴重な歴史遺産である「塩の道」を、次世代に継承していけたらと思います。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



少し雨が降っていたので、去年より短い距離だったけど疲れました。

畑では、赤いジャガイモがたくさん採れてうれしかったです。

楽しかったので、また参加して今度はもっと長い距離を歩きたいです。

塩の道ウォーキング PHOTO ALBUM



- 1 / 緑豊かな「塩の道」を歩く参加者の皆さん
- 2・3 / イモ堀り体験をする子どもたち
- 4 / 熊の爪痕が残る樹木
- 5 / 「塩の道クイズ」優勝者に新鮮野菜のプレゼント
- 6・7 / 橋上さんの畑で採れたジャガイモを食べる参加者

血圧計が設置



しろと内科循環器科クリニックから久慈市に自動血圧計が寄贈され、山根市民センターの窓口にも設置されました。

どなたでも自由にお使いいただけます。日頃の健康管理や体調チェックなどに、ぜひお気軽にご活用ください。みんなで高血圧ゼロのまちを目指しましょう。

月の市 大盛況！



7月26日、やまね未来づくり会べっぴんカフェチームが「べっぴんカフェ7月の市」を開催。軍配もちや焼き鳥、地元の採れたて野菜、コーヒーなどを販売しました。

お天気が心配されましたが、多くのお客さまに足を運んでいただきました。ありがとうございました。

夏を乗り切ろう！

クーリングシェルターを
ご利用ください

暑い日が続いていますが、体調を崩されていませんか。

熱中症は屋外だけでなく、室内で過ごしているときでも発症する可能性があります。年齢を重ねるにつれて、体内の水分量が少なくなるうえ、暑さやのどの渴きを感じにくくなります。「これくらいなら大丈夫」と思わず、こまめに水分を取る、エアコンを上手に使うなど、適切な予防対策で、今年の夏を元気に乗り切りましょう。

市では、熱中症警戒アラート発令中に危険な暑さを避ける一時的な退避場所「クーリングシェルター」を市内の各施設に設置中。山根町内では、山根市民センターの図書室を指定場所として開放しますので、ぜひご利用ください。



「山根の日」延期

台風第15号の大雨が直撃



8月11日に予定されていた夏まつりイベント「山根の日」は、台風第15号の影響を考慮して見送り。9月に延期して開催されます。

イベントを主催する新山根六郷会の八屋尚樹さんは「今回は来場者の安全を優先して判断。さらにパワーアップさせたい」と次回を見据えていました。日程などの詳細は改めてお知らせします。お楽しみに。



山根の動画 も見てね！

山根市民センターでは、YouTubeチャンネルでセンター事業や地域のイベント、人や文化など山根の魅力を発信中。右の二次元コードから視聴できます。ぜひご覧ください。



HAPPY
NEWS



先月、地域おこし協力隊の吉野恭涼さんご夫妻に、男の子が誕生しました！お名前は維吹（いぶき）くんです。

山根地区にまた子どもが増えました。豊かな自然の中で、すくすく育ってほしいですね。

キラキラ やまねびと

山根町出身者や山根に縁のある人、話題のやまね人を紹介するコーナーです

佐々木 智子 さん

主人が生まれ育った山根町に、人々が集まり、循環する場所を作りたいと思い立ったのがお店を始めたきっかけです。経営者としても飲食店経験者としても未熟なままオープンしたので、家族にも本当に助けてもらいました。

山根の人たちがお店に集まってくれて沢山の笑い声に包まれた時や、遠くからお店に来てくれたお客さまが「木々や川の流れ、空気感が澄んでいて、とても素敵な場所ですね」と声をかけてくれた時は、本当にありがたいなあと思っています。

オープンから5年が経ちましたが、飲食業とは全く違う仕事をしている私がお店を続けていられるのは、山根の人たちの優しさや励まし、応援のおかげだと、月日を重ねるごとに感謝の気持ちでいっぱいになっています。

毎日が必死で笑顔がうまく作れない時もありますが、できるだけ笑顔いっぱい、元気いっぱいでお店を続けていきたいと思っています。これからも、どうぞよろしくお願いします。



■Profile ささき ともこ

- ・「Cafe soramame」(そらまめ) オーナー
- ・小久慈町在住
- ・好きなこと : お昼寝
- ・好きな食べ物: グラタン
- ・嫌いなもの : カエル
- ・やりたいこと: 日本一周 美術館巡り

★店名「そらまめ」の由来は愛猫「そら」と「まめ」。そして、童話「ジャックと豆の木」のように小さな豆から天高く伸びていく、そんな二つの想いを込めて名付けました

卒隊。新たなスタート 朝比奈つとむさん活動報告会

7月29日から31日までの3日間、地域おこし協力隊として活動されてきた朝比奈つとむさんが市内で活動報告会を開催。制作した作品や活動写真を紹介しながら、3年間の歩みを振り返りました。

協力隊を卒業後も、絵を通して山根の魅力を伝えていきたいそうです。

これから新たな一歩を踏み出す朝比奈さんを、みんなで温かく応援していきましょう。



べっぴんカフェ 8月の市

日時: 8月23日(日) 10時~13時

場所: 山根市民センター敷地内

内容: 軍配もち

自家焙煎コーヒー

ファーマーズマーケット ほか



編集後記



「塩の道」ウォーキングが近づくにつれ、天気予報にとらめっこの毎日でした。予報のマークが変わる度に一喜一憂。直前まで開催が危ぶまれましたが、なんとか開催できました。きっと、参加者に「晴れ男」と「晴れ女」がいたのでしょうね。感謝申し上げます!